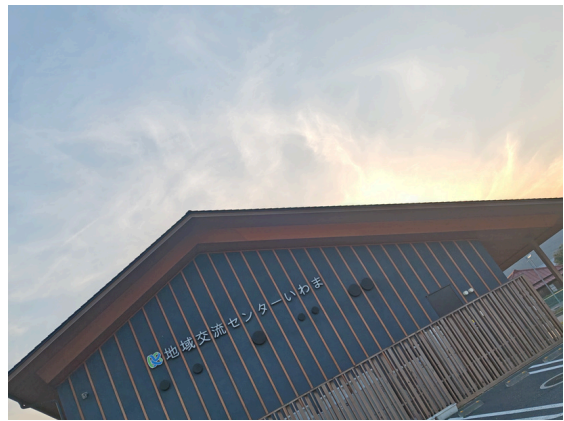


# いのべいんふお

2026年（令和8年）4月発行



2026/3/24

E-nnovation Fes.

3月24日、茨城県笠間市地域交流センターいわまにて第4回E-nnovation Fes.を開催しました。テーマは『みんなに「ありがとう」を伝えよう』でした。

第一部のワークショップでは、中学生から企業の大人まで幅広い層の方たちに参加していただき、自分たちの視点を広げることのできた貴重な機会でした。

第二部からは小学生も参加し、謎解きアドベンチャーを行いました。子ども達の楽しそうな様子を見ることができ、スタッフたちも大満足でした。

最後にスタッフたちから、日頃よりお世話になっている皆様への感謝を込めて、こっちのけんとさんの「それもいいね」のダンスパフォーマンスを行いました。また、子ども達一人ひとりを心から肯定し、そのままの輝きを信じ、支え続けていく、子ども達を応援し、居場所の一つになりたい、という思いも込めました。



## E-nnovationメンバー紹介



E-nnovation理事長  
佐々木 康喬  
(Sasaki Yasutaka)

⇒「イルカに乗った少年」のイルカ人を巻き込みながら場を前に進める推進力があり、周囲にポジティブな影響を与える存在だから。明るさと信頼感を兼ね備え、楽しさをエネルギーに変えて人を未来へ導く力があるから。

⇒真摯

⇒挑戦を恐れず、一歩踏み出す行動を積み重ねる一年にする。出会いと学びを力に変え、関わる人の可能性を広げ続ける。



E-nnovation  
エグゼクティブプロデューサー  
長澤隼人  
(Nagasawa Hayato)

⇒リスと言われましたー

⇒情けは人の為ならず

⇒無理せず、色々がんばります！



Next E-nnovation  
鈴木隆誠  
(Suzuki Ryusei)

⇒猪  
猪年だから

⇒青雲の志

⇒最高の一年にします！



E-nnovation 'リーダー'  
須藤結  
(Suto Yui)

⇒ハムスター

周りによく言われます笑

ちんちくりんでちょこまかしてるからだと思います

⇒一期一会

⇒健康第一！！

大学生生活の折り返し地点、大切に生きる！



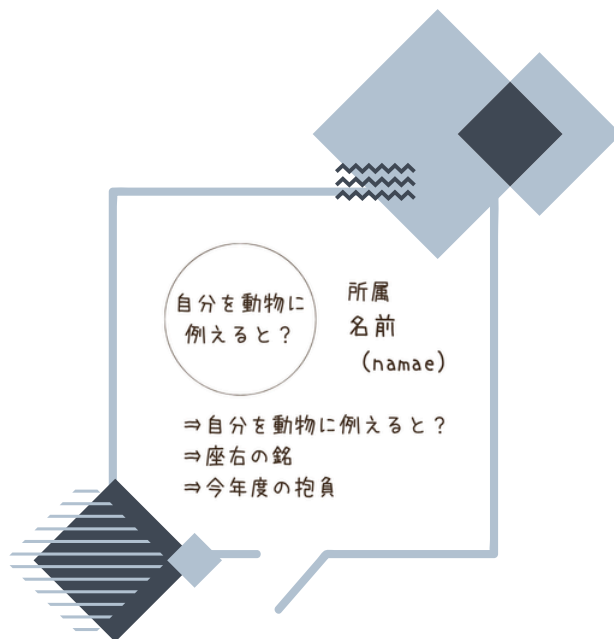
E-nnovationサブリーダー  
Next E-nnovation副サークル長  
景山和樹  
(Kageyama Kazuki)

⇒ペンギン

歩き方がペンギンみたいと言われたことがあるから

⇒エネルギーッシュ

⇒自分らしく頑張ります！



自分を動物に例えると？

所属  
名前  
(namae)

⇒自分を動物に例えると？

⇒座右の銘

⇒今年度の抱負



Next E-nnovation  
飯島美聡  
(Ijima Misato)

⇒犬だと思います！犬の忠実なイメージが私の真面目な性格と共通点があると考えたのと、私は「笑顔が素敵」と褒めていただくことが多々あるので、愛嬌のある犬に合うと考えたためです。

⇒人事を尽くして天命を待つ

⇒運転免許を取得する！子どもと関わる機会を増やして、より多くの学びを得る！



E-nnovation Academy  
本間彩月  
(Honma Satsuki)

⇒なまけもの 理由なんでもギリギリにやるから

⇒なんとかなる

⇒提出期限を間に合わせる！



Ennovation Academy リーダー  
打越唯愛  
(Uchikosi Ichika)

⇒ナマケモノ  
何事でも行動するまでが遅いから

⇒初心忘るべからず

⇒志望校合格



E-nnovation academy チーフリーダー  
宮地奏良  
(Miyachi Sora)

⇒タコ  
脳みそが何個もあるので意思がブレやすいです。  
あと心臓も3個あります。

⇒乾坤一擲

⇒大学受験がんばります。



Next E-nnovation  
藤井美瑛子  
(Fuji Mieko)

⇒ねこ  
ほんとは犬がいいけど、周りからは猫って言われたので猫で！

⇒遠回りこそが1番の近道

⇒たくさん経験して自分の道を広げる！！



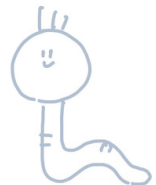
E-nnovationアシスタントマネージャー  
Next E-nnovation サークル長  
中島伶和  
(Nakajima Rino)

⇒うさぎ  
友達に聞きました  
仲良くなるのに時間がかかったからだそうです

⇒為せば成る、為さねば成らぬ何事も  
成らぬは人の為さぬなりけり

⇒大学の勉強もサークルもE-nnovationもたくさん頑張ります！

他にも個性豊かなメンバーが  
たくさんいます！！



## 子どもたちのための教育とは何か。①

私が考えるには、教育とは「点数を上げること」ではない。ましてや「正解を早く出す訓練」でもない。教育とは、子ども一人ひとりの中にある“学び続ける力”を、環境ごと引き出す営みである。

学校現場で起きていることを思い返してほしい。正解を書いた瞬間に安心し、間違えた瞬間に黙り込む空気。手を挙げた人だけが評価され、沈黙している子どもは見えなくなる授業。こうした構造の中で、「挑戦する力」が本当に育つだろうか。

私はそうは思わない。

子どもが本気で変わる瞬間は、正解したときではない。むしろ間違えたあとに、「もう一回やってみよう」と言える場に出会ったときだ。失敗しても関係性が壊れない経験、否定されずに考えを言い直せる時間——その積み重ねの中でしか、学びは深まらない。

だから教育者に必要なのは、“教える技術”以上に、“場をつくる覚悟”である。子どもをコントロールするのではなく、子どもが自分で動き出す空気を設計すること。静かな子を無理に発言させるのではなく、その子が安心して思考できる余白を守ること。

非認知能力とは、スローガンではない。粘り強さも、協働性も、自己調整力も、「うまくいかない経験の中で、それでも続けていい」と許された子どもだけが身につけられる力だ。だからこそ私は問い直したい。

いまの学校は、子どもたちに「正解に早く到達する力」ばかりを求めているのか。

そして、「間違えながら進む力」を本気で守れているだろうか。

教育とは、完成された人間をつくることではない。未完成な存在が、何度でもやり直しながら前に進める“余白”を、社会の側が引き受けることだ。

その余白を守る覚悟があるかどうか。それこそが、これからの教育のすべてを分ける。私はそう考えている。

佐々木 康喬

大学受験予備校にて校舎長、東京本部学務室長を歴任。全国の大学受験指導に携わり、高卒本科クラス担任時には第一志望校合格率9割を達成。進路指導のプロとして多くの受験生を志望校合格へ導く。

現在は茨城県ひたちなか市を拠点に、子どもたちの「学力」と「非認知能力」を育てる教育プログラムを開発。小中高大と連携した探究学習支援や地域共創型キャリア教育に加え、不登校支援にも取り組み、学校と地域をつなぐ教育活動を展開している。

## 編集後記

今回がE-nnovationの広報紙第一弾ということで、私自身、一から広報紙を作ることは初めてで、わからないことばかりでしたが、何とか形にすることができました。協力してくれた皆さん、ありがとうございました。

そして、新年度が始まりました。今年度もE-nnovationをどうぞよろしくお願いいたします。

中島伶和

